

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 786 号	氏名	蒲原 涼太郎
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	江口 晋	
	副 査	川上 純	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>カロリー制限は、インスリン抵抗性の改善、ストレス耐性の獲得、寿命延長などの効果があることが知られている。本研究は、カロリー制限で血中アディポネクチン濃度が上昇することから、老化制御におけるアディポネクチンの役割に着目して解析を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>アディポネクチン過剰発現マウスと野性型マウスを用い、通常食、高脂肪食、カロリー制限食を摂取した3群について、インスリン抵抗性、脂肪組織の各種遺伝子発現、LPS 投与に対するストレス耐性、抗腫瘍活性について検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、アディポネクチン過剰発現マウスは野性型のカロリー制限マウスと類似した形質を示し、カロリー制限によるインスリン抵抗性やストレス耐性の改善にアディポネクチンが重要な役割を担っていることが示唆された。今後の抗老化、抗ストレス機構の研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は老化制御の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			